

【平成30年度矢口小学校授業改善プラン】

国語科における平成29年度の授業改善推進プランの検証

取組における成果と課題

- ・読書学習司書との連携で国語の学習を進めることができた。
- ・表現力「書くこと」「話すこと・聞くこと」について力を付ける必要がある。

国語科における内容別・観点別分析

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
内容 の 分 別 分 析 結 果	昨年度と比べて、第5学年・第6学年共に上がっている。	昨年度と比べて、第5学年・第6学年共に上がっている。	昨年度と比べて第5学年は上がり、第6学年は下がっている。	昨年度に比べて、第5学年は上がり、第6学年は同等である。	
観 点 別 分 析 結 果 の	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	昨年度と比べて、第5学年・第6学年共に上がっている。区平均値・全国平均値と比べると下回っている。	昨年度と比べて、第5学年・第6学年共に上がっている。区平均値・全国平均値と比べると下回っている。	昨年度と比べて、第5学年・第6学年共に上がっている。区平均値・全国平均値と比べると下回っている。	昨年度に比べて第5学年は上がり、第6学年は下がっている。区の平均に比べると5年生は同等、6年生は下回っている。	昨年度に比べて、第5学年は上がり、第6学年は同等である。区の平均に比べると、5年生は同等、6年生は下回っている。

授業改善のポイント

分析を受けて、取り組む柱

- ・国語科の学習への意欲を高める。
- ・「書く」「話す・聞く」について基礎基本を定着させ、表現の学習を工夫していく。
- ・課題を的確にとらえ、一人一人がしっかりと考えをもち、伝え合う授業を行う。

国語科の授業改善策

柱をより具体的な活動へ <具体的な取り組み方法>

- 【関心意欲態度】・読書学習司書との連携により、読書への関心を高めたり、言葉への興味関心を高めたりしていく。
- ・低学年は読み聞かせ、中学年・高学年はブックトーク等、本に対する興味を広げ様々な本を手にして読む機会を設ける。
- 【表現】・自分が考えたことを自信をもって「書く」「話す」活動の時間を確保する。
- ・「書く」については課題が多く、低学年より、書くことの指導の基礎を積み上げていく必要がある。「書くて楽しいね」等を活用しての基本事項の習得をめざす。いずれにしても系統的な指導をする。
- ・中学年・高学年では、「書く」過程を丁寧に指導する。文章構成等を意識させながら学習過程を工夫する。
- ・「話す・聞く」について、低学年ではペア学習を中心に、中学年・高学年ではグループ学習など少人数で自信をつけ、学級全体でも話して伝えられるよう段階的な指導をする。特に高学年では、根拠と立場を明らかにして話せるよう指導する。
- 【理解】・考えたことを友達と交流することによって、考えが深まる体験をしながら自分の考えをもう一度振り返る学習過程を設定する。
- ・「読み」については課題のある学年もある。低学年については楽しんでお話の世界に浸り、繰り返し声に出す活動を取り入れる。中学年・高学年については、文学的な文章の読みを通して課題について話し合う学習を取り入れたり、場面ごとの移り変わりなどを読み取ったりして子供が意欲的に読む授業を展開する。
- ・説明的な文章の読みについては、低学年の話の中心を捉えることから始まり、中・高学年の接続語・指示語・文末表現を押さえて文章構成や段落の要点、文章全体の要旨をとらえるよう段階的な指導を行う。

平成30年度の成果と課題